



今月の記事

大学生との交流

先月からの愛の園

ここがこだわり！

リレーエッセイ

3～4月の予定



「大学生との交流を楽しみました！」

2月8日から10日にかけて、関西国際大学で社会福祉を学ぶ学生17名を、インターンシップとして受け入れていただきました。

活動の目的は、福祉従事者としてのルールやマナーの習得、入居者とのコミュニケーションを体験し自己課題を発見する、としています。職員の方からの講話、施設内見学、清掃活動、入居者さんとのコミュニケーション、レクリエーションの実践を行いました。

参加学生からは、「普段は何も意識せずに会話しているので、傾きや繰り返しなどの技法を取り入れて話を聴くことが難しいと感じました。コミュニケーションをとることはその人の生きがいや楽しみになることもあり、『聴く』ということがとても大切なのだと感じました。」という感想がありました。今後の学習へのモチベーションが高まる貴重な体験となりました。

(関西国際大学教育学部講師：尾崎慶太)

毎年2月に桜美林大学の演劇サークルがアウトリーチ事業として、西牟婁郡にある文化会館や福祉施設等において合唱寸劇を披露されています。今年は2月24日に愛の園へ訪問いただきました。

今年の合唱寸劇「水戸黄門」では、「ああ人生に涙あり」、「幸せなら手をたたこう」、「リンゴの唄」、「ふるさと」、「上を向いて歩こう」等の誰もが口ずさみ歌うことの出来る歌を選曲していました。これは、入居者の皆さんも一緒に合唱寸劇に参加して共に楽しむことをコンセプトにしているため、同時に芸術に関心をもっていたくという目的もあるのだそうです。入居者と職員もゲスト出演いたしました。

「この劇を上演することで、普段見えにくい入居者の方々の側面が浮かび上がったなら、共に楽しめたら、これ程嬉しいことはありません。」と、学生の代表が話してくれました。



ボランティアさんが入口看板下に春のお花を植えてくださいました。玄関脇でも花壇の整備が始まっています。ありがとうございます！

先月からの愛の園 あんなこと、こんなこと



吉川静子さんはめでたく白寿のお祝いを迎えられました。たいそうお元気で綺麗なお花を前に喜ばれていました。 2/9



関西国際大学のインターンシップキャンプ。車いす清掃、歌やゲームのレクリエーションなど、楽しい機会を提供いただきました。 2/8-10



4ユニットでの谷上安雄さんの誕生日会。ノンアルコールビールとともに焼きたてのおいしいたこ焼きを召し上がりました。 2/22



桜美林大学学生による合唱寸劇「水戸黄門」の上演。悪代官に印籠をかざす役を任されたNさんとゲスト出演した職員が大活躍でした。 2/24



ここがこだわり！私のユニット 5ユニット

ケアワーカー
岩本 守史

5ユニットは短期間宿泊される方に利用していただくショートステイのユニットです。

日々、入れ替わりで様々な方々がご利用していただきます。毎月ご利用される方もおられますし、2・3ヶ月に1度、中には1年に1度ご利用されるかどうかという方もおられます。

そうしたご利用の中で、それぞれお一人お一人の好みや生活習慣、服薬状況や病歴を伺い、なるべくご自宅での生活リズムで過ごしていただけるように気を配っています。

白浜町からみなべ町まで近隣の各所からご利用されるので、遠い親戚の方と出会う久しぶりの再会を喜ばれる方がおられたり、ここで顔なじみとなり、「今日はあの人来てないんか？」と新たな友達ができたりすることもショートステイのよいところだと思います。

2月の節分の豆まきでは天日干していた鬼の衣装を見て「私も被ってみたいわ、かまんか？」とかつらを被り、皆さんを笑顔に下さる方もおられ、利用者さんも職員も笑っていることが多いユニットです。

心穏やかに過ごすことができ、「ここへやったら泊りにきてもええわ。」と行っていただけのような努力していきたいと思えます。



リレーエッセイ(43) 「姉妹」

ケアワーカー
蓬野有沙

リレーエッセイが私に回って来ましたが、何を書くか決まらずに迷い、私も自分の姉妹のことを書くことにしました。

私には、3歳年上の姉がいます。現在、大阪で看護師の仕事をしているため、なかなか会うことが出来ません。

姉は小さい頃から私の面倒をよく見てくれま

した。大阪に就職が決まった時は、私は寂しさでいっぱいになりました。何かあればすぐに相談していたので、姉がいない毎日はなかなか慣れませんでした。今までどれだけ姉に頼っていたか、どれだけ自分が何も出来ない妹なのかを知りました。

姉が大阪に引っ越しをした帰り際に私に手紙をくれて、その手紙には『自分のしたいことをするのが一番やで。妥協するのは駄目。そのやりたいことがもし大変だったり、努力が必要なことやったとしても、終わってみればなんてなかったってことになるから頑張るんやで。有沙は自慢の妹やで。』と書いてありました。

私にとっても自慢の姉です。姉の言葉を信じてこれからもこの仕事を頑張っていきたいと思えます。

次回は山本 輝君をお願いします。

「キリストの愛を以って
互いに仕える」

社会福祉法人神愛会
特別養護老人ホーム愛の園

〒649-2103
和歌山県西牟婁郡上富田町
生馬 316-56

TEL (0739)47-1234

FAX (0739)47-4329

Email ainosono@shinai.or.jp



3～4月の愛の園

編集者から

Facebookもチェック 
<https://www.facebook.com/shinaiikai>

ホームページもご覧ください。
バックナンバーを掲載しています

<http://shinai.or.jp>

- 11(金) ネイルアート
- 13(日) 礼拝(み言葉の礼拝)
- 15(火) ひまわり会
- 17(木) やまびこ会 ヨガ教室
- 18(金) 社協ボランティア来園
- 20(日) 礼拝(聖餐式)
- 21(月) まりもと愉快的仲間たち来園
- 22(火) マリア会
- 23(水) 歯科診療日
- 24(木) やまびこ会 ヨガ教室
- 26(土) イースターエッグ作り
- 27(日) 礼拝(聖餐式・イースター)
- 31(木) やまびこ会 ヨガ教室
- 3(日) 礼拝(み言葉の礼拝)
- 5(火) マリア会
- 7(木) やまびこ会 ヨガ教室
- 10(日) 礼拝(み言葉の礼拝)

全国各地でインフルエンザが流行していると新聞やテレビで報道されていました。愛の園では風邪等で体調を崩された入居者の方はおられましたが、幸いインフルエンザに感染された方はおられませんでした。

職員はもちろんですが、面会に来て下さるご家族の皆様にも手洗い、うがいにご協力いただき、ありがとうございました。

さて、今年も愛の園の1Fエレベータ前に雛人形を飾り、入居者の方々に見ていただいています。入居者の中には「見ていたら楽しい気分になる」と仰って下さる方や、「この間のマリア会で雛祭りの歌を歌ってきたよ」と笑顔で教えて下さる方もおられました。ご家族の皆様も面会に来られた際は少し足を止めてご覧いただければと思います。(I)